

被爆80周年記念・
天守閉城
カウンタダウン企画展

広島城と基のまぢ

Hiroshima Castle and The Founding Site of Hiroshima



中央モノクロ写真：堀川祐治 撮影／広島市公文書館提供

[会期]

令和7年(2025)

会期中無休

4月26日(土)～10月19日(日)

Apr.26(sat)-Oct.19(sun),2025

[開館時間／Hours]

9:00～18:00

入館は閉館の30分前まで
last admission at 17:30

[会場]

広島城天守閣
第四層企画展示室

[観覧料]

大人370(280)円、
シニア・高校生相当180(100)円、
中学生以下無料

()内は30名以上の団体料金
シニアは65歳以上(年齢を確認できる
証明書を提示)

Admission Fee:

Adult/¥370

Senior(Age 65 and over),
High School Student/¥180

Junior High School Student
and Younger/Free



被爆80周年記念・

天守閉城カウントダウン企画展

広島城と

基のまち

旧

広島市民球場跡地の整備やサッカースタジアムの建設を経て、さらには大規模な再開発プロジェクトが動き出し、現在進行形で目まぐるしい変化をみせる広島市の中心、**基町**。

広島築城に始まり、近世は広島藩の中枢、近代は陸軍の要衝として、そして戦後は官庁街、公園などとしてのみならず、被爆者をはじめ、住む場を失った人びとを受け入れ、戦災復興の象徴的な舞台となった、この**広島開基のまち**の歩みをたどります。



I 広島築城～広島開基
芸州広島城町割之図(部分) 山口県文書館所蔵(展示資料は複製)

- II 近世の広島城～広島藩を支えた日本有数の巨大城郭
寛永年間広島城下図(部分)
(展示資料は複製)
- III 広島城から基町へ～軍都広島の要衝となったまち
サッカースタジアム(現エディオンピースウィング広島)建設地から出土した陸軍の観舎跡(公財)広島市文化財団文化財課提供
- IV コントラストのまち～戦後復興と原爆スラム
復興が目覚ましく進む一方で画面左奥には無数の応急住宅がひしめく(1959年ごろか)広島市公文書館提供



- V 変貌する基(もとい)のまち
天守からの景観に巨大なスタジアムが加わった(2024年)



関連事業 **展示ガイド** 日時：会期中の日曜日 ①11:00～②14:00～(所要約15分) 学芸員が展示の見どころをご案内します
参加費：無料(観覧料が必要です)

広島城へのアクセス

市内電車	紙屋町東・西電停から北へ	徒歩約15分
アストラムライン	県庁前駅、城北駅から	徒歩約12分
バス	合同庁舎前バス停から	徒歩約8分
	広島バスセンターから	徒歩約12分
観光ループバスめいぶる～ぶ(オレンジルート、レモンルート)	広島城(護国神社前)バス停から	徒歩約6分
自家用車 (広島城三の丸駐車場をご利用の場合)	山陽自動車道広島 IC から	約20分
	国道54号を市内中心部方面へ 広島城三の丸駐車場から	徒歩約5分

